

ゆりのきっ子

令和元年度
松橋小学校
学校便り 第10号
文責 校長 岩村 浩一

たすきをつないだ運動会

大会テーマ「みんながレギュラー 令和へ発進 たすきをつなげ! 輝け松小」のもと、児童たちは暑さに負けず、保護者地域の皆様の温かい励ましの中、見事な運動会を演じてくれました。

レギュラーとは出番のあること、たすきには「伝統の保持と挑戦」(責務と努め)の2つの重みがあることを児童に伝えて来ました。そのことを児童や職員が理解し、頑張ってくれたと感じています。

伝統の保持と挑戦は相反することではありません。挑戦することが伝統を保持していくことにつながると考えます。

君が代独唱、ふれあいタイム、職員リレーは今年の運動会の新たな挑戦でした。

ふれあいタイムは、もじもじした児童もいたと思います。

それが本校の課題です。だからこそやり続けるべきと考えます。

いつの日か、笑顔満開のふれあいタイムを実現させたいと思います。

学校は、「地域の中にあってこそ」だと思っております。

全員レギュラーの運動会



見えない順位に目を向けて

今年の運動会、優勝は青団でした。3つの団が優勝を目指し戦った結果です。スポーツの世界では、大会が終われば必ず順位がでます。優勝という「目標」を達成できるのはたった1つの集団のみです。厳しい世界です。

では、優勝できなかった赤団や白団は「目標を達成できなかったダメな団」でしょうか。決してそうではありません。「目標」は大切なものですが、1番ではありません。それを越えるもっと大切な価値があります。

それが「目的」です。「目標」は「目的」に達するまでの途中にある標（しるべ）にすぎません。重要なことは「目的」を達成できたかどうかです。

運動会の目的は以下の4つを掲げています。

- 発表力の向上
- 体力づくりと健康増進
- 集団の一員としての自覚
- 自治能力の育成

「目的」の達成度には順位がついていません。ですから優勝旗もありません。しかし、見えないものだからこそ重要ではないでしょうか。校長としては、3つの団に「見えない優勝旗」をあげたつもりです。むしろ、見えない優勝旗の価値は、これからの学校生活の中で明らかになっていくものだと思います。

6月のイメージ

6月のイメージは「心」としました。6月は、心の絆を深める月間として、県下一斉に、家庭、学校、地域が様々な取組を行うこととなっています。

心は決して見えないものではなく、姿や行動に影響していきます。

これにあわせて6月は「無言清掃」に全校で取り組もうと考えています。

掃除と心がどうつながるのかは、3日の全校集会で話しました。

日本一の学校づくりに向け、次のステップ「掃除」に進んでいきます。ご家庭でもご協力願います。

松橋かたる塾

6年生を対象として、地域人による人生講話「松橋かたる塾」を実施しました。第1回の講師は学校評議員の3名の方々です、児童は食い入るように話を聞いていました。

